

設計・計画部門



内藤多加志

生年月日 1983年11月兵庫県生まれ
 最終学歴 2008年京都大学大学院
 工学研究科建築学専攻
 業務履歴 2008年大成建設㈱入社
 現在、関西支店設計部
 アーキテクト

●担当した主なプロジェクト

2010年 高知電気ビル
 2012年 池袋神田ビルディング
 2012年 オンワードパークビルディング
 2013年 天満橋京町ビルディング
 2016年 京都経済センター（仮称）
 整備事業

■青年技術者のことば

「人々が心地よくすごせる場所づくり」ということを、設計を進める際のキーワードにしている。ここで言う人々とはクライアントだけでなく、建物のエンドユーザーや一時的に立ち寄った人々、建物の周辺を歩く人々など何かしら建物に対して関わりを持つ人たち全般をさしている。

多くの人が幸せに、心地よく時間を過ごすことができる場所をつくるのが、私の生涯の目標であり、これまで携わったプロジェクトでは、上記の思いを実現するべく努力してきた。

その具体的な方策は

- ・まちなみに対してどのように貢献できるかを考えること
 - ・都市空間の中に憩いの場を挿入すること
 - ・日常の生活に潤いを与えるインテリアを考えること
- の3点ではないかと考えている。

その一つ一つは何気ない試みに過ぎないが、全てを日々の仕事の中で実現することは意外と難しい。ただ、これらの内容が実現できたとき、クライアントだけでなく建物に関わるさまざまな人々にも喜ばれる「心地よい場所づくり」が出来るということ、プロジェクトを通じて実感できたことも事実である。これまでの体験を糧に、さらなる高みを目指して努力していきたい。

■すいせん者

平井浩之
 大成建設㈱ 関西支店 設計部
 設計部長



▲オンワードパークビルディング

オンワードホールディングスの本社ビル建替計画である。「繊細な衣服をまとったイメージ」の外装デザインを採用することで、企業イメージを発信する美しいオブジェのようなたたずまいのビルとした。足もと廻りには緑の植栽帯を設けることで、通りに不足していた近隣の人々のための憩いの場を設けている。建物利用者だけでなく、近隣のオフィスワーカーや商業施設の買い物客が、ほっと一息つける場所が生まれることを期待している。

▼京都経済センター(仮称) 整備事業

京都の中心、四条室町に計画された新たな経済センターの計画である。京都の叡智を結集するというコンセプトのもと、事務所フロアには京都を代表する複数の経済団体が入居する予定である。低層部には集会場や展示場、店舗など、まちに賑わいを発信する施設が配置される。ビル利用者以外も利用可能なバルコニーや交流スペースを建物の内外設けることで、経済団体やまちの人々の交流が促進され、まちに開かれた憩いと出会いの場が生まれることを期待している。

